

Weekly Report

2025-26

よいことのために手を取りあおう

創立 / 1965年5月22日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
 会場 / 江南商工会館1F 大ホール
 江南市古知野町小金112
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL / <https://www.kounan-rc.com/>
 Mail / kounanrc@beach.ocn.ne.jp
 会長/沢田 昌久 幹事/尾関 育良 会報委員長/野々垣 裕司



2025年(令和7年) 11月20日(木)晴れ 第2855回(当年度第15回)例会

点鐘
司会
ロータリーソング齊唱
四つのテスト齊唱

— 言行はこれに照らしてから —
 1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

会長 沢田 昌久君
 SAA 川崎 良一君
 「日も風も星も」
 木本 寛君

会長挨拶

会長 沢田 昌久君



ゲスト及びビジター紹介



菊 貴世様



村瀬 孝様

こんにちは
私が運営するケアハウスでは、よく買い物や外出行事を行います。

高齢者にとって、買い物や外出行事は、自らの昔の行動を振り返ってウインドウショッピングを楽しんだり、外出行事も自然や人と触れ合う楽しみの一つになっています。

商業施設での精算は、最近はクレジット決済だったり電子決済が多く、または自らレジを行うセルフレジだったり、なかなか高齢者にとって難しい内容になってきています。

そういう場面に出くわすと、高齢の自分でもなかなかうまく精算ができなくなることがあります。

そこで少しでも頭を使えばリハビリ効果が生まれ、買い物もまた行きたくなるやもしれません。ウインドウショッピングは、知らぬ間に距離を歩く身体機能を、そして何を買おうかなという選択は認知機能の維持に大変役立ちます。

幸いにして、私の施設では介護度の高い人はそんなに多くはありません。ですので、金銭管理も大丈夫、歩くことも疲れない限り大丈夫ですと自負して1週間ほど旅行に出かけられる方も、ちらほらお見えになります。

その影響もあってか施設内では健康寿命を延ばすことのいろんな対策をみんなで考えて、機能訓練の運動や体操を日々おこなってもらっています。

まさにこうした自由に生活ができるところに、ケ

アハウスの醍醐味があり、私もこうした職員の指導のもと、運動などに参加させてもらい楽しもせてもらっています。しかし、私のように突如として襲い来る心臓や血管の病気には、対処方法がありません。じゃあどうしたら良いでしょう。

それは、水を毎日飲むことです、一般的には2リットルといいますが、普段からちょくちょく飲めば、十分足りますので、皆さんもよかつたら是非やってみてください。

幹事報告 -別紙-

幹事 尾関 育良君

祝 福

委員長 田岡 剛君

出席報告

委員 中山 健嗣君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
56名	42名	14名	77.78%

ニコボックス

委員 中山 健嗣君

○(一社)愛知県老人福祉施設協議会会長 太田二郎様 ようこそ江南ロータリークラブへ 本日の卓話、宜しくお願ひいたします。
菊 貴世君、ようこそ江南ロータリークラブへ
村瀬 孝君、ようこそ江南ロータリークラブへ
沢田 昌久、中村 耕司、尾関 育良、佐藤 弘夫 各君

○杉浦さん、波多野さん、江南商工会議所の正副会頭ご就任おめでとうございます。
ロータリーメンバーとして、嬉しく思っています。
倉知 正憲君

○私事ですが、第98回選抜高校野球「21世紀枠」愛知県推薦校に誠信高校が選ばれました。(まだ、甲子園に行けるわけではありませんが)
これからも応援をお願いいたします。

伊藤 由香君

○11/20(木)S.T.S例会
(一社)愛知県老人福祉施設協議会会長 太田二郎様
「特別養護老人ホーム」『まどかの郷』のよもやま話
ようこそ江南ロータリークラブへ!本日の卓話、宜しくお願ひいたします。
菊 貴世様、村瀬 孝様、ようこそ江南ロータリークラブへ!

**松岡 一成、庄田 元久、岩田 静夫、枚本 哲一、
長瀬 晴義、木本 寛、岩田 進市、三輪 慎一郎
各君**

卓話

「特別養護老人ホーム」『まどかの郷』のよもやま話



(一社)愛知県老人福祉施設協議会会長
太田二郎様

皆さん!こんにちは。

私は、毎日、平均年齢84歳の世界で仕事をしていますので、老人ホームの施設長として皆様に本日のテーマ「老け込まないための秘訣」を「よもやま話」としてお話をさせて頂こうと思います。

いま、この地球上で一番年寄りの多い国はどこか?と、尋ねられれば、まぎれもなく「日本」と答えます。今年、全国で100歳以上の高齢者はついに9万9千人に達しました。まさに「人生100年時代」であります。皆さん、何歳まで長生きしたいですか?

【100歳】 【120歳】 【84歳】

いま65歳以上の高齢者人口割合は3割に達しようとしています。

「老い(おい)」という言葉が、医療や介護といった社会保障費の増大につながるとして、ネガティブに捉えられていることがとても悔しくてなりません。長生きを喜べない国は、寂しいと思います。高齢者の4割は「一人暮らし」で672万人いらっしゃいます。一人暮らしというのは、「孤独死」が心配です。今年、上半期だけでも自宅で孤独死をした65歳以上の高齢者は全国で3万人以上います。故に高齢者が増え続ける中で、いま、世の中で一番必要とされているのが「高齢者介護施設」であります。

沢田会長は「社会福祉法人 愛江会」の理事長でいらっしゃり、「ケアハウスふじの郷」の施設長でもあります。

私の施設は、特養ホームと呼ばれている施設であります。皆さん、「老人ホーム」と聞くと、「高齢者をお世話する施設」と思われるがちですが、最近の「まどかの郷」は、そうではありません。入所者の方ができることを尊重し、自立する力を取り戻せるように施設では取り組みをしています。

例えば、おむつを当てるばかりではなくて、おむつを外す努力をしています。

加齢とともに弱っていくことをただ見守るだけの介護イメージはもう古いと思います。

ところで、「生きている」と「生きていく」は、一字の違いではありますが、意味は大きく違います。

「生きていく」ために必要なものは「いきがい」であります。

老いていきますと、どうしても人はいろいろなものを失い、この喪失感は、お年寄りの心理と生活態

度にも現れます。お年寄りと接するときにはそのことを理解してあげて、大きな許容量をもって接して欲しいと思います。

「老年期」というのはいわば、人生の仕上げの時です。私は、「まどかの郷」の職員に常々「この仕事は、人生の仕上げの部分に関わらせて頂く尊い仕事だ」と説明しています。

人間というのは、歳を取つてからの事を考えたり、自分の死について考えることを大変嫌います。それは、愉快なことではないからです。

老後は、必ずやってくるのですから後悔のないようお過ごし頂きたいと思います。



点鐘

会長 沢田 昌久君

本日の食事



11月24日(月・振休) マスターズ会 於:犬山CC



11月27日(木) ワイン会 於:ラ・カーサ江南店





My ROTARY

※ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760 アプリダ
ダウンロードは[こちら](#)



江南 RC 会報 YouTube
チャンネル登録は[こちら](#)

(担当: 委員 青山 英明)